

2023年9月13日

【注意！】秋期繁忙期の農作業安全

まだまだ暑い日が続いておりますが、収穫作業がピークとなる時期となりました。国内では、農作業の死亡事故が年間300件前後発生しており、就業者10万人当たりの死亡事故者数は過去10年で最も高い水準となっています。

本ページでは、農作業事故の発生件数が特に多い秋の繁忙期を迎えるにあたり、農作業安全に関する対策方法をお伝えします。

【コンバイン】

収穫作業に欠かせない「コンバイン」の事故事例として多いのが、「移動・走行中の転倒・転落」「巻き込まれ事故」です。

コンバインは運転席からの「死角」が多く、少しの段差でも傾きやすい特徴があります。旋回や方向転換の際は、「死角」を意識した上で、進行方向の安全（人、障害物、段差がないか等）を確認し、無理のない運転を心がけましょう。

また、後進時に事故が多く発生する傾向があります。補助作業者がいる場合は、居場所をよく確認し、エンジン始動時に、ホーンや声で合図をするなど作業前にルールを確認しておくといよいでしょう。

1 圃場・道路、走行中の転倒、転落

①特にバック時に転落



事例
三角形の圃場の角列り中、後進時に、畦を乗り越え4m下に転落。打撲、擦過傷。

小まめに後方の確認を、補助者は誘導を！

②死角は前方にも



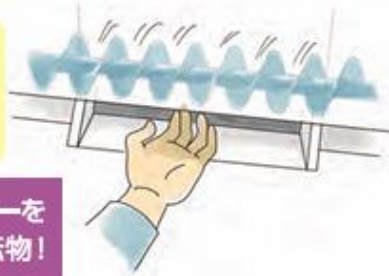
事例
オペレーターは、複数の補助員がコンバインを離れたと思いき、発進し下敷き。実際は、死角の位置に補助員が...

コンバインの巻き込まれ事故は、特に点検整備・清掃時に多く発生しています。

コンバインのチェーンやカッターに詰まった藁や、ゴミを取り除く場合は、必ずエンジンを停止させ、回転部が動いていないことを確認してから作業を行いましょう。また手こぎ作業は、刈り取りクラッチを切り、手袋や作業着の袖などがフィードチェーンに巻き込まれないよう、安全な服装・装備で作業に臨みましょう。

2 整備中の事故、確実に回転を止めて！

事例 秋作業後の清掃中、掃除口を開いて手を入れた瞬間、回転していたスロアに触れ、指を切断。



コンバインは、カバーを外すとまるごと回転物！

出典：「農作業安全の啓発資料」コンバインの事故（農林水産省）

(https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/enzen/siryu.html#tractor) を編集して作成)

【トラクター】

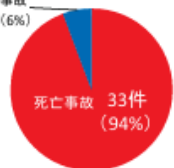
農作業死亡事故のうち、約3分の1が乗用型トラクターに係る事故で、そのうち70%が「転倒・転落」が原因となっています。シートベルトの装着により、事故発生時の死亡率を約8分の1にまで低減できることが過去データからも明らかになっています。「安全フレーム」があるトラクターでも「シートベルト」を装着しなければ、安全域に身体が固定されないため、機体が転倒した際に身体を守ることができません。シートベルトを装着して初めて十分な効果を発揮します。そのため、運転時は必ず「安全フレーム」を立てた状態で、運転者は「シートベルト」「ヘルメット」の装着を徹底しましょう。

①安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト着用を徹底しましょう！

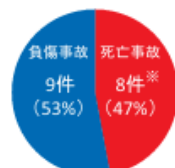
○安全キャブ・フレームの有無による事故割合

安全キャブ・フレームのないトラクターで事故を起こした場合、結果として亡くなっている方が多くなっています。

負傷事故
2件 (6%)



安全キャブ・フレームなし



安全キャブ・フレームあり

※ 安全キャブ・フレームありの死亡事故(8件)についてみると、うち5件はシートベルト未着用(推定を含む)。

安全キャブ・フレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、安全域の中に身体が固定されないため、転倒した際に身体を守ることはできません。



【ここをチェック】



フレーム付きトラクターでのシートベルト着用を徹底しましょう。



そのほか、左右のブレーキペダルを連結せず、走行中誤って片方のみ急ブレーキを踏むと、思わぬ急旋回でバランスが不安定になり、転倒・転落の重大事故につながる可能性があります。事故を未然に防ぐために、ブレーキペダルの連結し、安定した停止操作を行いましょう。

③ブレーキペダルの連結を確認しましょう！

転落・転倒事故の多くは操作上のミスが伴うものと思われます。ほ場から出たところでの事故では片ブレーキによる事故などが考えられます。



【ここをチェック】



作業が終わったら、ほ場を出る前にブレーキを連結しましょう。



出典：「農作業安全の啓発資料」乗用型トラクターの事故に関する安全対策のポイント（農林水産省）

（https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/siryu.html#tractor）を編集して作成）

安全に作業するためにも基本となる「正しい服装」を今一度チェックしてみましよう！

- ・機械への巻き込みを防ぐために、だぶつきのない服を着用しましょう。袖口は閉じ、裾をしぼったズボンを履き、引っかかりを防ぎましょう。
- ・首に巻いたタオルは、機械に巻き込まれるおそれがあるので、服の中へ入れましょ

う。

- ・万が一の事故に備えて、機械に乗る際は、必ずヘルメットをかぶりましょう。
作業に応じて保護メガネやその他の保護具を装着しましょう。
- ・転倒を防ぐため、安全靴を着用しましょう。

その他、農作業安全に関する情報として、茨城県のホームページで「農作業安全の手引き」を掲載しております。

茨城県ホームページ「農作業安全の手引き」

<https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/sansin/documents/r5annzennnotebiki.pdf>

特に今の時期は日暮れ時刻が日に日に早くなっています。

日没の時間が迫り、「予定していた作業を今日中に終わらせよう」という焦りが事故を招いてしまうこともあるため、「ゆとりをもった作業計画」を組むようにしましょう。また、「作業手順の確認」「作業前点検」など基本的なことを怠らず、「最も早く作業を終わらせる方法」ではなく、「最も安全に作業を行う方法」を選び、安全に事故なく秋を乗り切りましょう！



困ったことがあれば、最寄りのJA農機センターまでご相談ください！

https://www.zenoh.or.jp/ib/contents/make/nouki_center.html